

目 次

I . 総括研究報告

生体試料バンクを有効活用した食品および母乳の継続的モニタリング 小泉 昭夫	----- 1
--	---------

II . 分担研究報告

1. 汚染が懸念される物質のモニタリング (1) ネオニコチノイド農薬摂取量を尿試料により評価する生物学的モニタリングの手法の開発 小泉 昭夫	-----16
2 . 汚染が懸念される物質のモニタリング (2) 日本人母乳中の臭素系難燃剤 HBCDs, 2,4,6-TBP, TBBP-A の汚染実態の解明 原口 浩一 (藤井 由希子)	-----38
3. 汚染が懸念される物質のモニタリング (3) 日本および韓国人血清中のトリクロサン汚染実態の解明 原口 浩一 (藤井 由希子)	-----48
4 . 汚染が懸念される物質のモニタリング (4) 生体試料バンクの保存試料を使用した食事経由の PFCA _s 摂取量と血清中濃度の動向調査 小泉 昭夫	----- 58
5 . 汚染が懸念される物質のモニタリング (5) 炭素鎖の異なる有機フッ素カルボン酸と魚類摂取と関連の不飽和脂肪酸による検討 小泉 昭夫	----- 69

6. 系統的持続的な試料の収集と他機関への試料の提供 -----72

小泉 昭夫

原田 浩二

小林 果

(人見 敏明)

(新添 多聞)

() は研究協力者。

III . 研究成果の刊行に関する一覧表 ----- 75

IV . 研究成果の刊行物・別刷 ----- 76